

一般質問通告表

1.

12番 児玉 朋也 議員

質問形式：一問一答

マイナンバーカードの普及と利便性への取り組みについて

- ①マイナンバーカード取得率と交付税算定の影響について。
- ②取得率向上での費用対効果について。
- ③取得を各団体に協力要請されていますか。
- ④取得の目標値・見込み率は。
- ⑤普及促進と利便性への今後の取り組みはありますか。

2.

5番 小中 真樹雄 議員

質問形式：一問一答

教職員の働き方改革への独自の「処方箋」を

7月23日号の週刊東洋経済に「あなたの子どもの学校が崩れる」とのショッキングなレポートが掲載されました。「教員不足から公教育が崩壊するという」趣旨の記事です。8月5日の朝日新聞には「教職敬遠？免許の取得最少」との報道もありました。

文科省の調査などによると、全国の小中学校で最低でも2,000人の教員が不足していることが判明しています。

ブラックと呼ばれる教員の勤務実態を改め、教職員志望者を増やすには実を伴う教職員の「働き方改革」の重要性が叫ばれています。名古屋大学の内田良教授らが公立小中学校教員を対象に昨年行ったアンケートによると、「総時間外勤務」の合計値が過労死ラインとされる月80時間を超えている教員が小学校で59.8%、中学校では74.4%にも上っていたそうです。

そこでお尋ねします。市教委では、小中学校教員の総時間外労働の平均値を把握していますか。月80時間を超えるケースはどのくらいあるのでしょうか。東洋経済誌のアンケートによると、授業以外のことに時間をとられ、「アリバイづくりのための書類作成が多すぎる」や「保護者からの理不尽なクレームに心が疲れる」などで負担感を感じるとの声が寄せられています。改善への処方をお持ちですか。

さらに、臨時的任用教員など、非正規教員への依存について伺います。全国の県・政令市調査での非正規率は広島県は43位の15.9%となっています。本来、同一労働同一賃金のはずですが、非正規教員に担任や部活動指導を求めることはありますか。

産休や育休が心配なくとれるような体制はできていますか。総時間外労働が80時間を超えても、時間外手当は4%打ち切りというなかでの過酷な労働に思いを致すべきと考えます。市教委としてできること、どうしたら教職員の過重負担を減らせるか「大竹モデル」を示して下さい。

3.

6番 中川 智之 議員

質問形式：一問一答

ヤングケアラー支援について

政府は2022度から3年間で集中取組期間とし、2022年度の予算にも関連費用が盛り込まれ

ております。市としてヤングケアラー支援について取り組みを伺います。

带状疱疹のワクチン接種補助

近年、带状疱疹を発症する人が増えており合併症などで重症化することもあります。しかし、重症化を防ぐワクチンは1回2万円、しかも2回接種しなければなりません。ぜひ、助成を行っていただけないか伺います。

4.

8番 北地 範久 議員

質問方式：一問一答

生ごみの減量化への取り組みについて

ごみ収集処理及び減量化への取り組みは、処理量を見ると徐々に進められているところであるが、その内、家庭から出る生ごみについて、コンポストを活用することでなお一層の減量化に取り組めないか伺う。

5.

7番 小田上 尚典 議員

質問形式：一問一答

大好き大竹応援大使に期待することは何ですか

令和3年にスタートした「大好き大竹応援大使」の目的は、大使の活動を通じて効果的に市の魅力を発信することで、市の認知度、イメージの向上と地域の活性化とあります。普段の大使の方々との情報共有や連携はどのようにされているのでしょうか。そして、今後大使に期待する役割などあれば教えてください。

公共施設のデジタル化は進んでいますか。大前提として何が必要ですか

令和4年6月7日にデジタル田園都市国家構想基本方針が閣議決定されるなど、デジタル化の推進はすすんでいます。その中で大前提として重要なのはWi-Fiなどを含む通信環境です。その整備の指針となるものは現在ありますか。加えて、アゼリアおおたけにはフリーWi-Fiが設置されていますが、総合市民会館、公民館、図書館などにはありません。

DXって一体何なのか、道筋は見えてきましたか

今年度から企画財政課内の係編成が3係体制から4係体制に変わり、情報政策係と広報広聴係ができました。その中でも情報政策係はDXへの取り組みを行うことが市広報などでお知らせされています。国は令和8年3月までを期限に自治体に取り組むべき施策等を出していますが進捗状況はいかがでしょう。DXへの意識など変化はありましたか。

6.

14番 日域 究 議員

質問形式：一問一答

県用水の扱いについては、県条例を踏まえた運営をし、その運営状況の説明も

県用水について、上下水道事業年報にも監査報告書にも満足な説明はありません。上下水道局の内部記録を見ると、問題なく安定的に運営されている訳でも無く、実際には県と市は種々の協議を行っています。今回の値上げ案が途中で上げ幅縮小となったように、水道のコストという面では県用水は無視できない要素です。しかも、水道法では水道料金は能率的な経営をすることを前提に決めるとその第14条で定めています。県用水の現在の利用は妥当な

のか、県条例と水道法を踏まえてお尋ねします。

7.

3 番 藤川 和弘 議員

質問形式：一問一答

素通りの町から立ち寄る町にするために、三倉岳自然公園について

4 団体さんの呼びかけに 4 歳～80 歳までの方 90 名の方が参加し、三倉岳県立自然公園の大規模な清掃活動が行われました。参加した方々に三倉岳県立自然公園について聞き取りを行い、以下の要望が出た。

- ①W i - F i が届くようにしてほしい。緊急の連絡がとれない。
 - ②シャワー室や更衣室がほしい。
 - ③1 年中トイレが使えるようにしてほしい。冬季は使えない。
 - ④古く使いにくいキャンプ場の改修。
 - ⑤上側のキャンプ場が魅力的なので使用させて欲しい。
 - ⑥利用時間外にゲートを閉めると、キャンパーは、利便性が悪い。
 - ⑦山頂の看板が小さく寂しいのでインスタ映えする看板にしてほしい。
 - ⑧案内看板の設置、登山道の看板が少ないので分かりにくい。下山の時、間違えて違う場所に出た。
 - ⑨夕陽岳と中岳の間のルートを通れるようにしてほしい。
 - ⑩登山道にトイレがほしい。以前は 4 合目と 9 合目にトイレがあったと聞いている。
- 以上のことについて、市の考えを伺う。

素通りの町から立ち寄る町にするために、晴海臨海公園の水広場について

令和 4 年 4 月 29 日に利用開始した水広場について、市民からご意見をいただいております。今の施設では、1 歳、2 歳の小さい子供達は喜んでいると思いますが、もう少し大きい子供達にも利用してもらえるようにしていただきたいです。もっと高くミストを出るように出来ないでしょうか。市民からの声では、水で遊べる施設、水広場がほしいとの声が多く出ておりますが、お考えを伺う。

8.

15 番 細川 雅子 議員

質問方式：一問一答

玖波中学校の今後のあり方について

平成 14 年に「大竹市小中学校充実のための基本方針」が定められた。この「基本方針」において、「生徒数が減少し、1 学年 1 学級となる玖波中学校について小方中学校に移転する」との明記がされている。

玖波中学校の生徒数は平成 14 年 169 人であったが、令和 3 年には 49 人と激減している。さらに学校施設は築 40 年となり老朽化が一段と進んでいるように見える。

一方、この 20 年間で学校教育の環境も様変わりした。学校選択制や小中一貫教育を導入し、教育委員会としては成果に何らかの手ごたえを感じているのではないかと。

社会や教育環境が大きく変化した昨今、20 年前に定めた「基本方針」に縛られることなく、大竹っ子の健やかな成長のために、玖波中学校のあり方を再度検討されてはいかがかと。お考えを伺う。